履　歴　書

氏名（ふりがな） 熊本　江津子（くまもと　えつこ）

生年月日 1990年4月11日

自宅住所 〒8XX-0XXX　○○県○○市○○町1-23-4-567

 TEL/FAX：0XX-123-4567

勤務先・役職 ○○大学○○部○○学科・博士研究員

　 ○○大学○○部○○学科　○○学専攻　○○学講座

 〒8XX-0XXX　○○県○○市○○町8-9

 TEL：0XX-321-4567　　FAX：0XX-321-1234

 E-mail　kumamoto@xyz.abc.ne.jp

学　　位 ○○博士（2019年３月　○○大学）

所属学会 日本○○学会（10年間、2022年より評議員)

 日本△△学会（8年間）

 日本□□学会（5年間）

学　　歴 2009年３月31日 ○○高等学校　卒業

 2009年４月１日 ○○大学○○学部　入学

 2013年３月25日 同　卒業

 2013年４月１日 ○○大学大学院○○研究科修士課程　入学

 （○○学専攻）

 2015年３月24日 同　修了（○○修士）

 2015年４月１日 ○○大学大学院○○研究科博士課程　入学

 （○○学専攻）

 2019年３月24日 同　修了（○○博士）

職　　歴 2019年４月１日 ○○研究所○○研究室・博士研究員

 2021年４月１日 ○○大学○○部○○学科・博士研究員

 現在に至る

教育活動　　　　　 2020年度〜2025年度　基礎情報処理

 2024年度〜2025年度　物理化学

賞　　罰 2023年12月３日 第10回日本xx学会賞受賞

免　　許 2017年４月10日 薬剤師免許（登録第11111号）

業　績　目　録

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　熊本　江津子

注：著者名は原則として全員を記すこと。ただし著者数が多数（10人以上）にわたる場合は、最初の著者を３名記入し以下を省略のこと（省略する場合、その員数と、掲載されている応募者の順番を○番目と記入）。なお、応募者には下線を付し、論文のcorresponding author（責任著者）には＊を記すこと。投稿中論文は記載しないこと。印刷中論文については、正式な採択通知書のコピーを提出できる場合に限って記載が認められる。英文原著論文については、Journal Citation Reports (JCR)に基づく当該論文掲載誌の最新のimpact factor (IF)を記すこと。また、研究領域（JCRのCategories）別のIFランキング（総説誌を除く）において当該論文掲載誌が上位10%または上位40%にあるものについてはその旨を付記すること。

Ⅰ．原著論文

 1. Kumamoto E\*., Honjo E., Oe Y., Kuhonji T., Kurokami T.

 Endothelin activates the ..... in vascular smooth muscle.

 Nat. Chem. Biol. 14, 586-596 (2018) [IF 13.0；上位10%]

 2. Honjo E.\*, Kumamoto E, Oe Y., et al.（15人中２番目）

 Regulation of Human B Cell ... via Nrf2/NF-κB Pathway.

 Immunobiology 225, 9-13 (2020) [IF 2.5]

 3. Oe Y., Honjo E., Kuhonji T, Kumamoto E., Kurokami T\*.

 Cell-matrix interaction via CD44 is ….. PKC activation.

 J. Biol. Chem., in press. [IF 4.0；上位40%]

Ⅱ．英文原著論文のまとめ

注：記入例に従い、ピアレビューによる査読システムを経て発表された英文原著論文について、総論文数、主要著者（第１著者、第２著者、最終著者あるいは責任著者）となっている論文数、最近５年間（2020年以降）の論文数、掲載誌がIFランキング上位10%にある論文数、掲載誌がIFランキング上位40%（上位10%を含む）にある論文数を記載すること。印刷中の論文については、Ⅰ．原著論文に記載したものに限る。第１著者でかつ責任著者である場合や、最終著者でかつ責任著者である場合などは責任著者として扱い、重複して数えてはならない。

記入例

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 総論文数 | 主要著者論文数 | 最近５年間の論文数 | IF上位10%学術誌掲載論文数 | IF上位40%学術誌掲載論文数 |
| ○○ | ○○ | ○ | ○ | ○○ |

Ⅲ．総説

 1. Kumamoto E\*.

 Structural ensembles of ..... mutations in proteins.

 Curr. Opin. Struct. Biol. 62, 111-123 (2020)

 2. Honjo E., Kumamoto E\*., Kurokami T.

 Molecular dynamics of ... receptor signaling.

 FASEB J. 36, e22399 (2022)

Ⅳ．著書

 1. 熊本江津子

 医療情報学入門

 統計科学講座20, 456-489, ○○書店 (2023)

Ⅴ．招待講演

（注：国際学会や全国規模の学会に限定し、地方集談会を除いたものを記載のこと。）

 1. 熊本江津子、本荘次郎

 サイトカイン受容体の動的構造解析

 第23回蛋白質工学会シンポジウム(2021)

 2. Kumamoto E.

 Molecular dynamics of ... receptor signaling

 Tenth International Conference on Human .... (2024)

Ⅵ．学会発表（最近５年間について記載のこと。）

　1.　熊本江津子、本荘次郎

レセプター・リガンド相互作用のMDシミュレーション

第○○回○○生物物理学会　2022年７月18日（東京）

Ⅶ．研究費採択状況（代表者分・分担者分を別個に記載すること。）

注：過去に獲得した競争的研究資金について、文部科学省科学研究費、その他省庁研究補助金、財団等補助金別に、配分された直接経費の総額を記載のこと。間接経費の交付がある場合は（ ）内にその配分総額を記載すること。

研究代表者分

　文部科学省科学研究費

 　1. 平成29〜30年度　研究活動スタート支援 1,800千円(540千円)

 ○○○に関する研究

　2.　令和2〜4年度　若手研究 3,600千円(1,080千円)

 ○○○に関する研究

　その他省庁研究補助金

 　1.　令和3〜7年度　厚生労働省科学研究費

 がん克服戦略研究事業　10,000千円(3,000千円)

 ヒトＢ細胞の......

　財団等補助金（受託研究・共同研究等を含む）

 　1.　令和5年度　〇〇財団研究助成　2,000千円

 　　 ○○○と△△△に関する研究

研究分担者分

　文部科学省科学研究費

 　1. 平成29〜令和2年度　基盤研究(B)　2,500千円(750千円)

 TGF-β......の分子機構に関する研究（研究代表者　黒髪太郎）

　２．令和2〜5年度　基盤研究(B)　2,000千円(600千円)

 高脂血症におけるTGF-β.....に関する研究（研究代表者　大江良子）

　その他省庁研究補助金

 　1.　 令和3〜7年度　厚生労働省科学研究費

 がん克服戦略研究事業　3,000千円(900千円)

 ヒトＢ細胞の...... （研究代表者　黒髪太郎）

　財団等補助金（受託研究・共同研究等を含む）

 　1.　特になし

Ⅷ．競争的研究資金の獲得状況のまとめ

注：記入例に従い、直接経費の総獲得額、研究代表者としての直接経費獲得額、研究分担者としての直接経費獲得額、最近５年間（2020年度以降、内定を含む）の直接経費獲得額、研究代表者としての直接経費獲得額、研究分担者としての直接経費獲得額を記載すること。間接経費の交付がある場合は、（ ）内にその配分額を記載すること。

記入例

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 直接経費の総獲得額（間接経費） | 研究代表者としての直接経費獲得額（間接経費） | 研究分担者としての直接経費獲得額（間接経費） |
| ○，○○○千円（○○○千円） | ○○○千円（○○千円） | ○○○千円（○○千円） |
|  |  |  |
| 最近５年間の直接経費獲得額（間接経費） | 最近５年間の研究代表者としての直接経費獲得額（間接経費） | 最近５年間の研究分担者としての直接経費獲得額（間接経費） |
| ○，○○○千円（○○○千円） | ○○○千円（○○千円） | ○○○千円（○○千円） |

Ⅸ．特許

A.　登録・公告特許総数　件（内過去5年間　件）

第1行：発明者(審査対象者にはアンダーラインを付すこと)

第2行：発明の名称

第3行：登録番号および取得年

B.　公開中及び出願中　件

第1行：発明者(審査対象者にはアンダーラインを付すこと)

第2行：発明の名称

第3行：公開（出願）番号および公開（出願）年

Ⅹ．国際的な貢献

　　　国際交流を通じて国際的な貢献をしていることがあれば記入すること。

　　（教育）

　　（研究）

主 要 研 究 論 文 目 録

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　熊本　江津子

原則として原著論文が望ましいが、総説を含めることもできる。ただし合計20編以内に限定すること。このうち、原著論文を中心に、主要論文５編の別刷各１部を添付のこと。（コピー可）

注：直近の論文から過去に遡って記載すること。著者名は原則として全員を記すこと。ただし著者数が多数（10人以上）にわたる場合は、最初の著者を３名記入し以下を省略のこと（省略する場合、その員数と、掲載されている応募者の順番を○番目と記入）。なお、応募者には下線を付し、論文の責任著者には＊を記すこと。投稿中論文は記載しないこと。印刷中論文については、正式な採択通知書のコピーを提出できる場合に限って記載が認められる。

 1. Oe Y., Honjoe E., Kuhonji T, Kumamoto E., Kurokami T\*.

 Cell-matrix interaction via CD44 is ….. PKC activation.

 J. Biol. Chem., in press.

 2. Honjo E.\*, Kumamoto E, Oe Y., et al.（15人中2番目）

 Regulation of Human B Cell ... via Nrf2/NF-κB Pathway.

 Immunobiology 225, 9-13 (2020)

 3. Kumamoto E\*., Honjo E., Oe Y., Kuhonji T., Kurokami T.

 Endothelin activates the ..... in vascular smooth muscle.

 Nat. Chem. Biol. 14, 586-596 (2018)

研　究　業　績　の　概　要

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　熊本　江津子

現在までの業績をＡ４紙に１枚、1200字以内（英文の場合600 words以内）で記載すること。

研究・教育に対する抱負

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　熊本　江津子

本応募に関して、現在お持ちの抱負をＡ４紙に１枚、1200字以内（英文の場合600 words以内）で記載すること。

国立大学法人熊本大学長　殿

申告書

下記については、事実に相違なく、虚偽の記載があった場合には、採用取消や

懲戒処分等の対象となり得ることについて了承します。

令和　　　年 　　月 　　日

氏名 　　　　　　　　　　　　（自署）

記

* 履歴書に記載した内容に虚偽はありません。

（何れかに印を付けてください）

* 過去に懲戒処分若しくは分限処分を受けたことはありません。
* 過去に懲戒処分若しくは分限処分を受けたことがあります。

|  |
| --- |
| ※学生に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等が原因で処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を記入してください。 |

以上